

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野アートラインサマースクール
事業主体 (連絡先)	安曇野アートライン推進協議会 北安曇郡松川村
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,848,342 円 (うち支援金: 1,374,000 円)

#### 事業内容

安曇野アートラインサマースクール

- ① サマースクール全体ポスター・チラシの作成
- ② シンポジウム「山岳画の魅力語る」9/23 (日)  
会場: 松川村すずの音ホール 参加者: 85 人
- ③ いせひでこと森のおうち20年絵本原画展記念フォーラム「ことばと絵本の時代的意味—こころ豊かな未来を—」7/28 (土) 29 (日)  
会場: 絵本美術館・森のおうち 参加者: 122 人  
「図書館小さな手づくりお話し会」8/4 (土) 11 (土) 12 (日) 18 (土)  
会場: 絵本美術館・森のおうち 参加者: 93 人
- ④ 桑原茂夫講演会「井上洋介を語る」9/2 (日)  
会場: ちひろ美術館 参加者: 37 人



【「山岳の魅力語る」シンポジウム】

#### 【目標・ねらい】

- ①開催期間中の来館者増
- ②芸術文化の普及
- ③子どもの芸術文化に触れる機会の提供と啓発

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

安曇野アートラインサマースクール事業はアートライン全体事業として開催してきているが、弱小私立美術館は素晴らしい企画を持ちながら実現不可能だったり継続できなかつたり困難な状況にあった。これを支援することによりサマースクール全体が盛り上がり、安曇野アートライン知名度アップと期間中の誘客およびリピーターが目立つようになった。サマースクール参加人員は支援金事業を含めた全体事業でH29年度 9,700 人、H30年度は 10%増の 106,700 人を目標としたが参加数は 11,637 人と 19%増に及んだ。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

日本の教育は如何に優れた産業人、企業人を育てるかに力を入れている。そのため理数系学習を優先し芸術文化系の学習時間は極めて少ない。美しいものを見ることにより育つ感性や、ものを創作する喜びや、民族や国を超えた価値の多様性に出会う機会が失われている。その現状少しでも変えるべく、安曇野アートラインサマースクールを持続的に開催することにより、未来を担う子どもたちに芸術文化に触れる機会を展開していきたい。それと共に美術館・博物館の質を高め、地域との連携を深め、かつ観光客を誘致できる環境を整えていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

#### ※自己評価【 B 】

- 【理由】
- ・シンポ「山岳画の魅力語る」では当地が山岳画のメッカであることをアピールでき、恵まれた自然環境の素晴らしさを再認識し、山岳画の魅力と共に誇りと自信を共有できた。
  - ・サマースクールの活性化と持続で、参加者は地元及び観光客のリピーターが増え昨年の 19%増となった(但し参加数はイベントの総数と内容によって大きく変動する要因がある)